

漫 才

1. 歴史

万歳は新年にめでたい言葉を歌唱して、家の繁栄と長寿を祈る芸能である「千秋万歳」(せんずまんざい)を略した呼び方だと言われています。祝福芸の万歳は日本各地に広まり、それぞれの地域に根付いて地方色を出しながら継承されました。

(注) 全国の主な萬歳

秋 田 萬 歳	(秋田県)		
会 津	〃	(福島県)	
加 賀	〃	(石川県)	
越 前	〃	(福井県)	国指定無形民俗文化財 (1995年12月26日)
三 河	〃	(愛知県)	〃 (1995年12月26日)
尾 張	〃	(愛知県)	〃 (1995年12月20日)
伊 勢	〃	(三重県)	
大 和	〃	(奈良県)	
伊 予	〃	(愛媛県)	

2人1組で門付けを行う三河万歳や尾張万歳が有名ですが、尾張万歳には三曲万歳と言って、鼓、三味線、胡弓などを使って歌舞伎のパロディや小咄、謎かけなどを行う万歳芝居というべきものもあります。また、伊予万歳のように民謡化したものもありますし、贅女も万歳を歌っています。2人連れの万歳は語り役の「太夫」がめでたい歌を歌って扇を広げて舞い、おどけ役の「才蔵」が鼓で伴奏をし、合間に滑稽な言葉を入れました。「笑う門には福来る」という言葉があるように、日本人は神様に笑いを捧げることが福を招くことにつながると考えていました。新年に笑いを捧げることが福を招くことにつながると考えていました。

ここから万歳は新年を寿ぐ芸能から、笑いを主とする芸能へ変化していきました。

尾張万歳の一つである名古屋万歳は小屋掛けの演芸として演じられるようになりました。

そこで演じられたのは楽器演奏の三曲万歳です。歌舞伎のパロディを演じた後に小咄や謎かけ、数え歌で楽しませました。人気があったのが二代目伊六で、明治から大正にかけて軽口や俄の芸を取り入れた伊六万歳の名で興行しました。伊六に万歳を習ったとされるのが江州音頭の音頭取りであった玉子屋円辰でした。大阪・千日前で興行し、軽口や謎かけ、物真似なども取り入れて、江州音頭と笑いが一体化した芸能演芸を名古屋万歳の名で演じて人気を集めました。これ以降、江州音頭の音頭取り音頭の間には笑いを取り入れて、漫才として演じられるようになります。ここから派生して、民謡、泥鰌すくい、浪花節、音曲、日本舞踊、芝居、ものまねなど、それぞれの演者が得意にする芸に、太夫と才蔵の掛け合いの笑いを加えたものを総称して、漫才と呼ぶようになりました。そして東京にも進出し、東京っ子による東京漫才も大正時代には生れています。

この時期に「高級万歳」と称し、紋付に袴という正装で舞台に出て大劇場に進出したのが砂川捨丸です。捨丸は晩年まで古い形の漫才を演じ人気を博していました。

初期の萬歳の芸人には、萬歳という分野を切り開いたパイオニアである玉子屋円辰、市川順若や、砂川捨丸・中村春代のコンビなどがある。現在の上方漫才は、玉子屋円辰や砂川捨丸ら、関西の上方漫才創始者の芸人が、当時萬歳の本場であった尾張の萬歳師からこの音曲萬歳を習ったのが始まりであり、尾張萬歳から派生した

ものとされている。

昭和の初めに今までの漫才スタイルを捨て、背広を着て会話だけで漫才を演じたのが横山エンタツ・花菱アチャコのコンビです。「きみ」「ぼく」という言葉を使い、日常的な話題を題材としました。中でも有名な演目が「早慶戦」です。プロ野球がない時代に人々の注目を集めていたのが東京六大学野球で特に早慶戦は人気がありました。2人は野球を知っている者と知らない者の会話という設定で、ラジオの実況中継風な演出も取り入れて演じました。

NHKラジオ放送やレコードで広く日本中に知られるところとなり、エンタツ・アチャコは全国的な人気を得ました。後に寄席でのコンビは解消しても、喜劇映画の共演は続きました。

彼らの漫才は従来の和服、太鼓、唄の漫才とは全く異なりスーツ姿で会話のみのアメリカの話芸ダブルアウトに影響を受けている。このスタイルが現在の漫才に踏襲され、日本古来の太鼓で唄う萬歳がほぼ廃れているため、ビートだけしは漫才のルーツはアメリカにあるとしている。

2人の漫才に台本作者として係わったのが秋田実です。秋田は漫才作者としてさまざまなコンビに新作漫才の台本を提供しました。

昭和初期まで基本的には「萬歳」「萬才」の表記が使われることが多かったが吉本興業が一般公募で呼び方を募集したところ、「滑稽コント」「ユーモア万歳」「モダン万歳」「ニコニコ問答」などの応募があった。同社の橋本鎌彦（後の同社社長）が納得するのがなく自ら「漫才」との漢字表記にすることに決めた。（同社の林正之助であるという説もある）

このような気運の中、昭和8年（1933年）に吉本興業が「漫才」という表記を始め、翌年の新橋演舞場での興行を「特選爆笑漫才大会」としました。

日常生活を題材にするようになった漫才は、時流の変化に対応するのもしばやく、戦時中・戦後も人気を保ちました。民間ラジオ放送局やテレビ局の開局にも順応し、人気芸人はタレントとして活躍するようになりました。

1950～1960年代が漫才の全盛期で、上方では中田ダイマル・ラケット、みやこ蝶々・南都雄二、かしまし娘、夢路いとし・喜味こいし、海原お浜・小浜、鳳啓助・京唄子、人生幸朗・生息子、漫画トリオなどが、東京では内海突破・並木一路、コロンビア・トップ・ライト、内海桂子・好江、獅子てんや・瀬戸わんや、Wけんじなどがラジオ・テレビで活躍した。

昭和30年代には、音楽漫才のかしまし娘が全国的な人気を集めたのをきっかけに、女性トリオの音楽ショーが一挙に増えたこともありました。戦後、浪曲が急速に人気を失い、浪曲から音楽ショーへ転向する者が多くでたのが、その一因となっています。

1980年には、関西テレビの番組「花王名人劇場」や、フジテレビの番組「THE MANZAI」から漫才ブームが起こり、横山やすし・西川きよし、B&B、ザ・ぼんち、星セント・ルイス、ツービート、太平サブロー・シロー、島田紳助・松本竜介、西川のりお・上方よしお、オール阪神・巨人など中堅や若手漫才師が人気を集めた。

現在は主にテレビによってブームが作られています。そして若手に特徴的なのがプロダクションの養成所育ちで、師匠を持たない者が増えたことです。しかし、東京の場合は、そのようにテレビで知名度を得たコンビが漫才協会に入会し、生の舞台に立ち続けているという現象が起きています。それにより、次代を目指す若手の入会も増え、今また漫才は充実した時代を迎えています。

2. 主な漫才の種類

しゃべくり漫才

コントのようなストーリー展開にならないオーソドックスな漫才。正統派漫才とも言われる。中川家、ますだおかだ、タカアンドトシなど。

コント漫才

漫才の技術をベースにしつつもボケ、ツッコミ共に役になりきりストーリー展開になるコントのような漫才。アンタッチャブル、フットポールアワー、トータルテンボス、サンドウイッチマンなど。

3. ボケとツッコミ

2名の演者が、ボケ役とツッコミ役と呼ばれる二つに分けることができる。萬歳の太夫と才蔵に当る。

ボケ役は話題の中で面白いことを言うことが期待される役割である。話題の中に明らかな間違いや勘違いなどを織り込んで笑いを誘う所作を行ったり、冗談などを主に言う。

一方、その相方は、ボケ役の間違いを素早く指摘し、笑いどころを観客に提示する役割を担う。ボケ役の頭を軽く叩いたり胸のあたりを手の甲で叩いて指摘するこぼが多い。この役割をツッコミという。

もともとボケ役は、そのとぼける行為によって笑いを誘うことが多かったことから「とぼけ役」と呼称されていた。芸席の紹介で「つつこみ（役）・とぼけ（役）」と称されていたのが、後でおとだけで「ツッコミ（役）とボケ（役）」⇒「ツッコミ（役）と、ボケ（役）」のように展開したことから、現在のように「ツッコミ（役）・ボケ（役）」と称されている。

なお、ツッコミ役が進行する漫才師は中川家、昭和のいる・こいる、夢路いとし・喜味こいし、NONSTYLEなどがある。逆にビッキーズ、宮川大助・花子、大木こだま・ひびき、ナイツ等はボケ役が進行する。役割分担が固定的ではない漫才師には、中田ダイマル・ラケット、横山やすし・西川きよし、中田ガウス・ボタン、オール阪神・巨人、トミーズなどが該当する。

4. 主な漫才師

- ・横山エンタツ・花菱アチャコ
- ・夢路いとし・喜味こいし
- ・レッツゴー3匹（じゅん、正児、長作）
- ・青空球児・好児
- ・横山やすし・西川きよし
- ・B & B（島田洋七・島田洋八）
- ・ツービート（ビートたけし・ビートきよし）
- ・島田紳助・松本竜助
- ・中田ガウス・ボタン
- ・太平サブロー・シロー
- ・オール阪神・巨人
- ・今いくよ・くるよ
- ・海原はるか・かなた
- ・西川のりお・上方よしお

- ・大木こだま・ひびき
- ・ダウンタウン (松本人志・浜田雅攻)
- ・爆笑問題 (太田光・田中裕二)
- ・くりーむしちゅー (上田晋也・有田哲平)
- ・博多華丸・大吉
- ・ロザン (菅広文・宇治原史規)
- ・タカアンドドシ (タカ・トシ)

5. M-1グランプリチャンピオン

- ・中川家 (剛・礼二)
- ・ますだおかだ (増田英彦・岡田圭右)
- ・フットポールアワー (岩尾望・後藤輝基)
- ・アンタッチャブル (山崎弘也・柴田英嗣)
- ・ブラックマヨネーズ (吉田敬・小杉竜一)
- ・チュートリアル (徳井義実・福田充徳)
- ・サンドウィッチマン (伊達みきお・富沢たけし)
- ・NON STYLE (石田明・井上裕介)
- ・パンクブーブー (佐藤哲夫・黒沢純)
- ・笑い飯 (西田幸治・哲夫)

以 上